

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス きらめき		令和8年 2月 24日			
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		各部屋ごとにわかりやすい表示や展示物を置いて視覚情報の最小化等の視覚支援ができる環境を整えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		整理整頓を継続的にできる環境（構造化）を作っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別での活動ができる部屋を設けている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎月、職員会議、ケース会議等で情報共有を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年1回の評価を実施しており、随時の意向確認も行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議、情報交換会を月1回実施している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		「特性の理解」「特性に配慮して支援方法」「感染症対策」「虐待防止・身体拘束廃止」等の研修を毎年実施している。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表済み
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		担当者会議を関係機関を交えて行い、作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		各担当で近況報告書を作成して、関わる人が共通理解できるようにしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画案、計画書を随時確認し、プログラムに反映している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		行動分析の記録と評価を行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		作成・設定されている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		各担当でのプログラム検討・スタッフ間でのプログラム検討を毎月実施している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		各担当でのプログラム検討・スタッフ間でのプログラム検討を毎月実施している。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		ニーズに合わせて組み立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		スケジュールボード作成後に実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎後と翌日の朝礼時に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		各担当が記録を行う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		相談支援員へ同席をお願いして実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自己決定支援を意識した活動の組み立てを行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		必ず関係機関を集めての担当者会議を実施している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		月に1回以上は関係機関の訪問と情報級友を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時や公式ラインにて共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		訪問して情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		保護者サポート企画への参加案内を行い、参加して頂いている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		放課後児童クラブや児童館との交流は実施できていないが、地域のこどもと活動する機会は設けている。（地域行事への参加等）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		協議会主催の研修等に必ず参加している。部長も務めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に随時伝え、内容によっては訪問支援や事業所での相談支援を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		こどもサポート企画を毎年行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントの面談を実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		随時で面談形式で実施している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		年に2回実施している（感染症の状況によっては年1回）	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談苦情の受付窓口等を契約時に説明して周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		公式ラインで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報に厳重な取り扱いを教育している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		秋祭りや地域行事で地域住民と交流している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			保護者への周知が不十分なので周知方法について検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		策定して訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		アセスメント時に行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		家庭へ確認を取って、おやつ提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			保護者への周知が不十分な部分があるので周知方法について検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		該当者なし		